

事業所名

子ども発達教室にじのたね ふたば

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

28日

法人（事業所）理念		「自立を目指し、子どもの将来を見据えた支援を個別に提供していきます」を理念とし、子どもたちの自立支援を継続的に実施。多彩なプログラムを通して、自分自身を理解してセルフコントロールする力や、未来を作り上げる力を育てていきます。					
支援方針		学習や発達のサポート等の教育的な学習以外にもSST、生きていく上で必要な学びを継続的に提供・支援をしていきます。					
営業時間		10時	0分	19時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	カリキュラムに沿って活動できるようにする。SSTによる社会的訓練 定期的な心身の把握（感情のコントロール、呼吸法など）。					
	運動・感覚	ラダートレーニング、ボール、バランスディスクなど体幹トレーニングの実施 おり紙や制作をしつつ、手先の緻密性の向上をはかる。ピジョントレーニングおよび音楽やリズムに合わせて体を動かす運動。					
	認知・行動	ブロックなど遊びを通じた空間認知能力の形成 小集団でゲームを行うなどのルールに則った行動の形成、時間の概念の把握、数の概念・認知の習得。					
	言語コミュニケーション	療育のなかでSSTを行い、児童との会話を通して気持ちを伝えられるように促す。職員との日常会話で目上の人とのコミュニケーションの取り方を学んでもらう、自己紹介、多様なコミュニケーションの手法を学ぶ。					
	人間関係社会性	小集団活動や職員とのやり取りをすることでルールを理解する。見立て遊びやごっこ遊びの組み合わせによって関係性の理解を深める。					
家族支援		家庭への訪問・事業所内にて対応		移行支援		今のところ運用できていない	
地域支援・地域連携		連携を取ることは必要だと感じており、児童部会へ参加しているが、さらに各所と連携できる体制を作りたい。		職員の質の向上		年間研修計画に基づいて研修を実施し、スキル向上などに繋げられるようにする。	
主な行事等		季節の行事（お正月、バレンタイン、ひなまつり、こいのぼり、父母の日、敬老の日、クリスマス）を取り入れた制作やワークショップなどを活動の中に取り入れている。					